

みんなで進める

「安全・安心コミュニティ・ファイル」

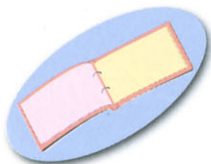
づくり

地域の防災力を高めるための出発点は、
まず地域の実態をよく知ることです!!

自らの命、自らのまちは
自ら守ろう!!

みんなで協力して地域を点検し、
コミュニティ・ファイルをつくろう!!

兵庫県



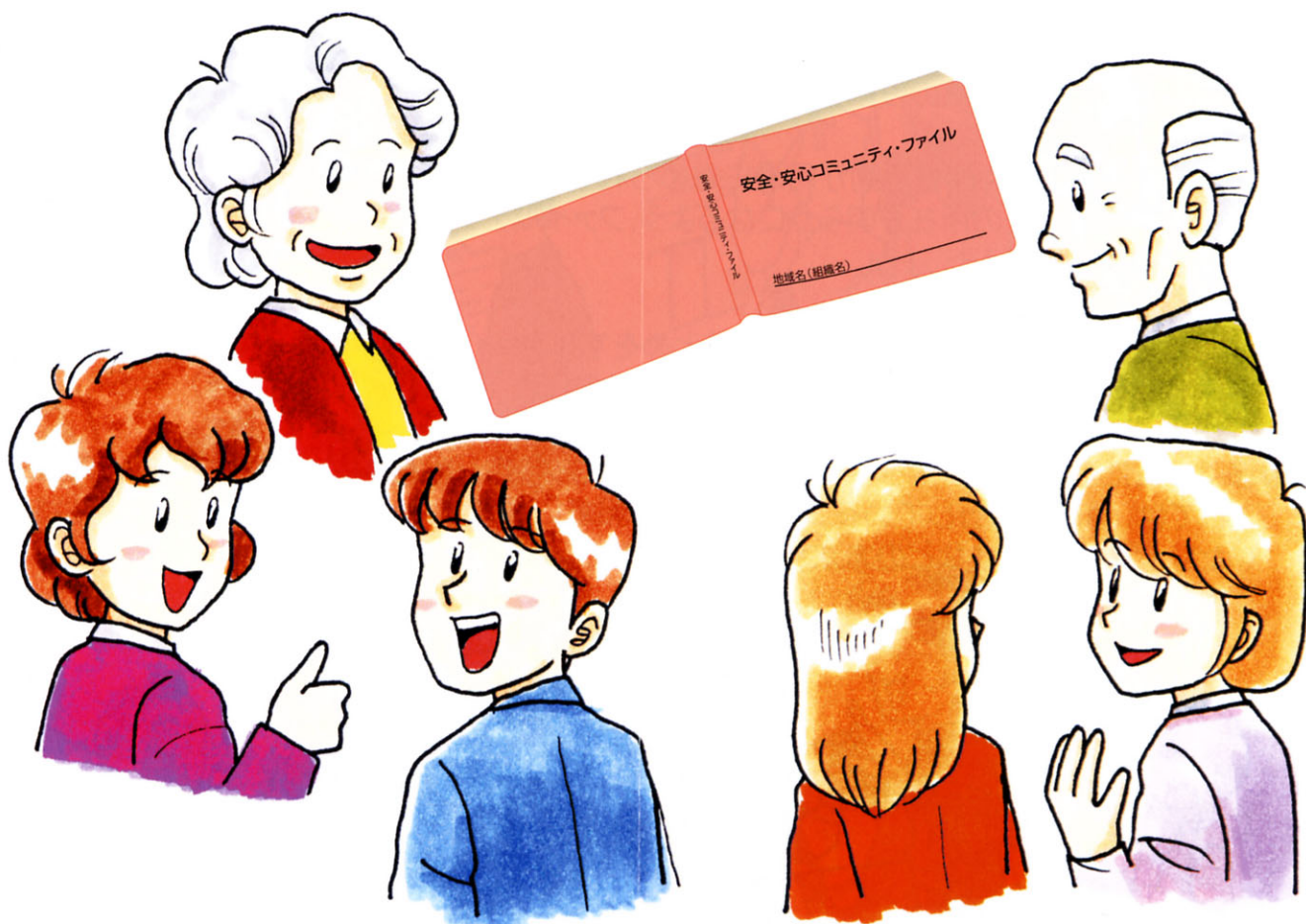
「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりのねらいはなんですか。

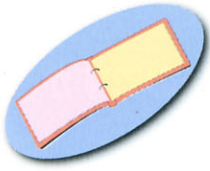
● 阪神・淡路大震災では、家屋の下敷きになった多くの被災者が、家族や近隣の住民によって救出されました。大震災の経験を通じて、大規模災害時に行政がすべてに対応するには限界があり、コミュニティの救済活動、助け合いが非常に大切であることが明らかになりました。

● 一方、今の地域社会は、一部には、高齢者が単身で生活していたり、隣り近所のつながりが薄いことなど、コミュニティが育ちにくい脆弱な状況となっている面があります。また、さまざまな地域団体やボランティアグループの相互の連携、ネットワークの不足が見受けられます。



● 「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりは、このような大震災の教訓や地域社会の現状を踏まえ、地域団体や住民の皆さんに、安全・安心の確保の観点からそれぞれの地域を点検し、地域のさまざまな情報を共有してもらおうとするもので、こうした取り組みを通じて、地域の防災力や防災意識の向上及びコミュニティ活動の活性化を図ることをねらいとしています。





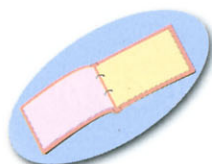
「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりはどんなものですか。

- 「安全・安心コミュニティ・ファイル」は、次の8つの編から成っています。

① 総括編	人口、世帯数など地域の基本的な事柄 避難場所や防災関係機関の所在地・電話番号
② 防災資機材・物資編	防災資機材庫・物資備蓄庫の場所 防災資機材・備蓄物資の保有状況
③ 施設編	消防施設（防火水槽、消火栓等）の状況 医療施設、災害弱者（高齢者、障害者等）のための施設等の状況
④ 危険箇所編	災害が起こりやすい箇所（軟弱な地盤、土砂災害のおそれのあるところ等） 避難や救援活動を行う上で問題のある箇所
⑤ 団体編	自主防災組織、自治会・町内会等の地域団体 災害時に協力してくれる工場、工務店、商店、事業所等
⑥ 人材編	自主防災活動など地域活動のリーダー等 被災者救援に関する専門的な資格・技術等を有する人（医師、看護婦等）
⑦ 災害弱者編	ひとり暮らし老人、寝たきり老人、障害者等 災害弱者のことを把握している人（民生委員等）
⑧ 地図編	避難場所、避難経路、施設、危険箇所等の場所。

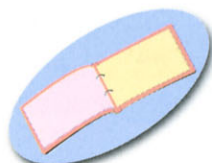
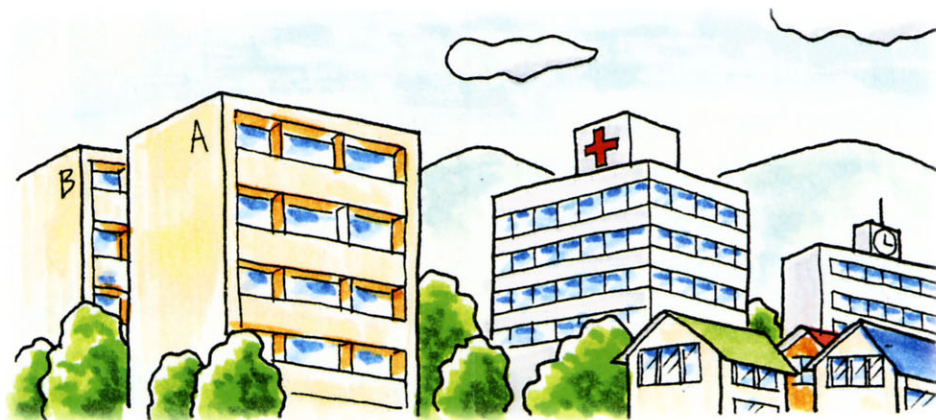
- このファイルは、それぞれの編に掲げた項目について、地域の皆さんが自分たちの地域を点検し、その結果を記載することによって完成します。
- 一度にすべての編について点検するのが難しければ、取り組みやすい編から順々に点検していくようにしましょう。地図編から始める方法もあります。





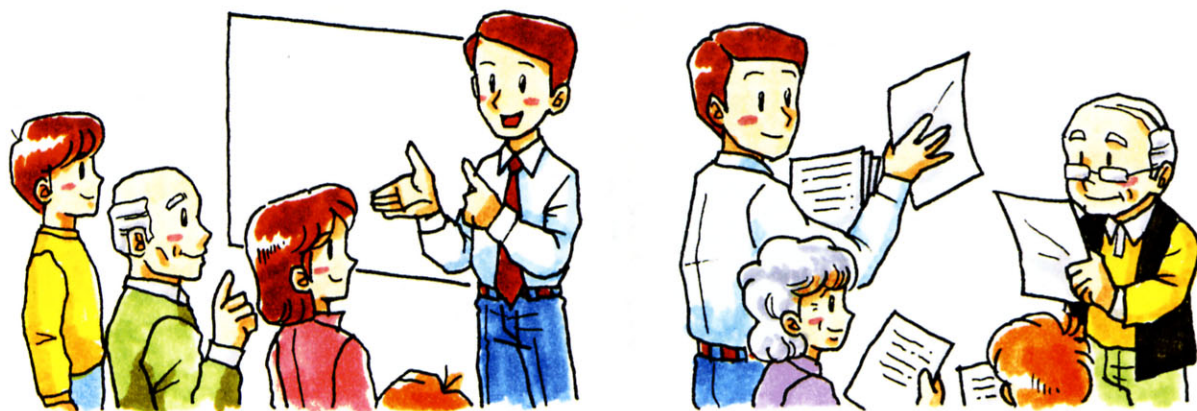
「安全・安心コミュニティ・ファイル」を作成する単位はどこですか。

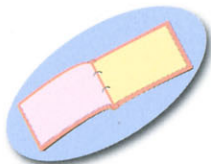
- コミュニティ活動は、通常、日常的な生活圏（自治会・町内会のエリア、小学校区のエリアなど）を単位として進められていますが、地域の防災活動は、顔見知りの人同士で、すなわち、できるだけ細かなエリアごとに進める方が機動性を発揮できます。そのため、「安全・安心コミュニティ・ファイル」は、原則として、自治会・町内会のエリアごとにつくるようにしましょう。なお、自治会・町内会のエリアでも、世帯数が特に多いところは、分割して実施するなど工夫しましょう。



「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりはどうやって進めていけばよいのですか。

- 最初に、地域団体の代表や地域の有志などの関係者がみんなて話し合い、作成方針、作成手順、スケジュール、それぞれの役割分担などを決めましょう。
- こうした話し合いや点検活動が円滑に進められるよう、また、一人ひとりの住民から見て点検活動の主体や責任の所在が明らかになるよう、ファイルをつくるための組織を設けるなど、地域での推進体制を整えましょう。
- 地域での取り組みの全体の調整やとりまとめをするファイルづくりの責任者、世話役を地域の方の中から選びましょう。（例：自主防災組織の代表、自治会長、町内会長等）
- 多くの人たちの協力が得られるよう、ファイルづくりの取り組みを広くPRしましょう。PR方法としては、地域で発行しているコミュニティ情報紙に掲載したり、チラシを作成して各戸配布したり、回覧板で流すなどの方法が考えられます。





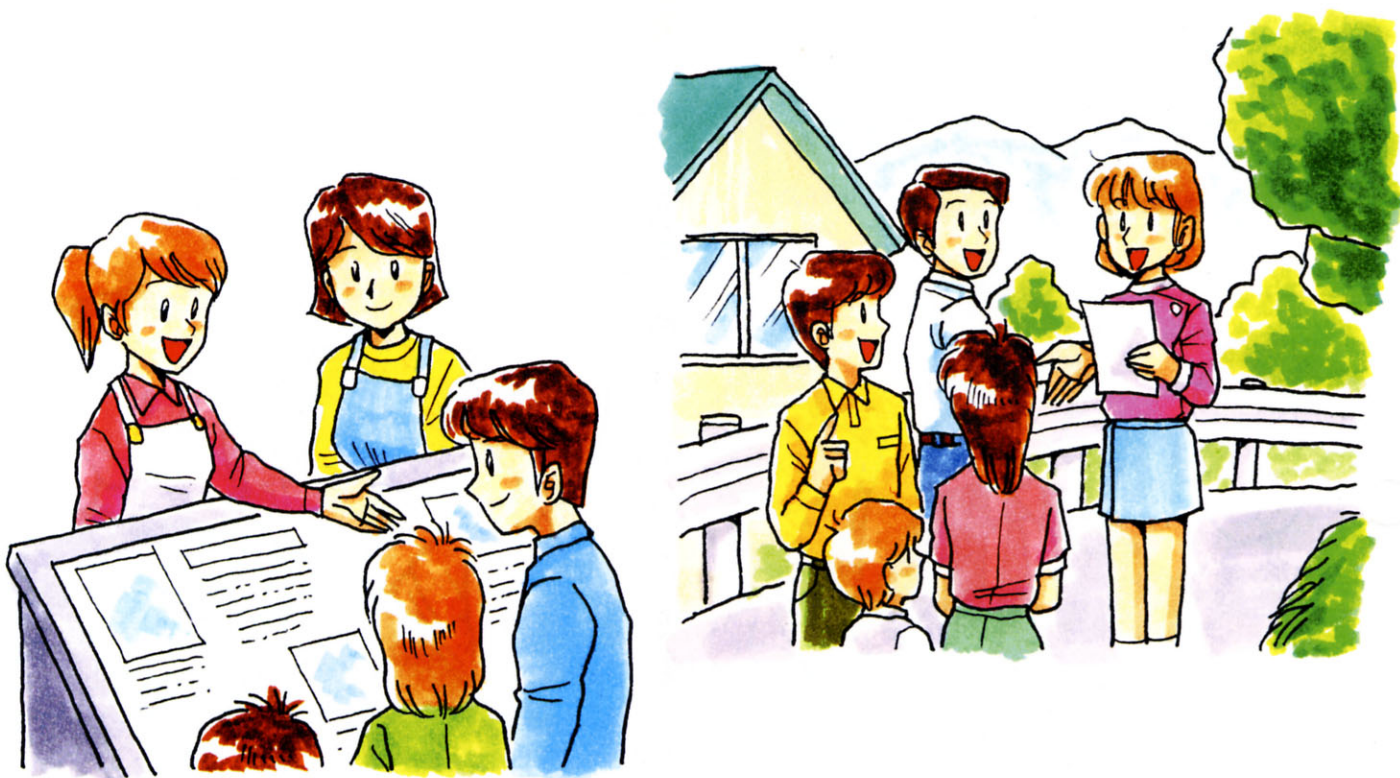
「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりで、地域を点検する具体的な方法を教えてください。

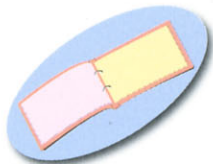
●地域を点検する具体的な方法としては、次のようなものが考えられます。

- ①地域の实情に詳しい人に話を聞いてみる。
- ②市役所、町役場などの関係機関に話を聞いてみる。
- ③さまざまな団体の関係者に話を聞いたり、関係する本人に確認する。場合によっては、直接書いてもらう。
- ④実際に地域を歩いてチェックする。
(施設や危険個所の写真撮影、お年寄りや障害者の視点からの点検、まちの魅力探しなど)

●実際に地域を歩いてチェックする際は、多くの住民の参加を求め、例えば、イベント方式で実施するなど工夫しましょう。

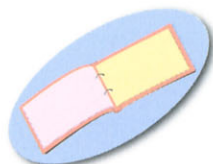
●「安全・安心コミュニティ・ファイル」づくりは粘り強く、長い期間にわたって継続していかなければなりません。最終的には、地域行事としての定着を目指しましょう。





「安全・安心コミュニティ・ファイル」の項目の一部には個人情報が含まれていますが、どのような取り扱いをすればよいのですか。

- 人材編、災害弱者編の情報ははじめ、他の編の情報でも項目によっては、個人情報（個人に関する情報で、特定の個人が識別され得るもの）にあたり、不適切に取り扱われた場合に個人の権利利益を侵害するおそれのあるものが含まれていますので、取り扱いに注意しましょう。
- 個人情報については、本人に協力を求め、このファイルを作成する目的、入手した情報の管理の仕方、情報を公開する相手方の範囲や公開する場合等を説明し、その承諾を得た上で記載するようにしましょう。
- とりわけ、災害弱者編の情報については、原則として、災害弱者本人または親族などから申し出があった場合のみ記載するなど、慎重に取り扱しましょう。
- なお、市町、県の担当課などの行政機関に個人情報を提供する場合は、本人にその旨を必ず説明し、承諾を得てください。



できあがった「安全・安心コミュニティ・ファイル」の管理はどうするのですか。



- 完成した「安全・安心コミュニティ・ファイル」は、地域の貴重な財産になります。また、その内容が無断で公開されると不都合が生じることもあります。保管者と保管場所を決めて、ファイルそのものを確実に管理しましょう。
- このファイルに記載された情報は、地域の情報として、基本的に、すべての住民に公開されるべきものです。しかしながら、人材編、災害弱者編の情報といった個人情報などについては、ファイルを作成した目的の範囲内で使用されるよう、原則として、平時は、項目に応じて、情報を共有する範囲を特定の人に限定し、災害時には、必要な範囲で公開するシステムをつくりましょう。
- とりわけ、災害弱者編の情報については、災害弱者を支援する立場にある限られた人のみに情報共有の範囲を限定するなど、厳重に管理するようにしましょう。
- 個人情報に関しては、本人から、ファイルに記載された情報の開示、訂正、削除等の申し出があったときは、原則として、これに応ずるようにして下さい。



「安全・安心コミュニティ・ファイル」はどのように使えばよいのですか。

- 「安全・安心コミュニティ・ファイル」は、災害時の被災者救援活動などの災害対応、平時における災害への備えの充実等のために活用しましょう。
- 災害時には、その状況に応じて、ファイルに記載された防災資機材、施設などを活用したり、団体、人材の協力、連携を図りながら、情報の収集伝達、初期消火、救出救護、避難誘導、被災者の生活支援、避難所の運営支援などの救援活動にあたりましょう。災害弱者に対しては、特にきめ細かな支援活動を行いましょう。
- 平時には、ファイルを参考にして、被災者救援活動の備えなど災害への備えを充実させるほか、ファイルづくりを通じて明らかになった地域のさまざまな課題を検討し、皆さん自身で解決できることはその解決に努め、それが困難なときは課題に応じて市町、県その他の関係機関に申し出るようにしましょう。また、地域団体などがファイルに記載された情報を共有することにより、日常的に協力しあったり、共同で活動するなど相互の連携を深めましょう。
- このファイルは、以上のように、地域の防災力や防災意識の向上及びコミュニティ活動の活性化を図るために活用するものです。例えば、営利目的などで使用したり、あるいは第三者によって使用されたりすることのないよう十分に注意して下さい。



できあがった「安全・安心コミュニティ・ファイル」は見直さなくてよいのですか。

- 「安全・安心コミュニティ・ファイル」は、いったんつくってしまえばそれで終わるものではありません。その後も、定期的に地域を再点検し、ファイルに修正を加え、実態に合ったものにしておきましょう。
- また、このファイルは、安全・安心の中でも、特に防災面を中心に点検項目が掲げられていますが、将来的には、皆さんの創意、工夫によって、防犯・交通安全、健康福祉、青少年育成、環境など、さらに幅広い分野の諸課題に対応するものとして、項目を充実させていきましょう。





©Tezuka Productions

この冊子のお問い合わせ先

兵庫県企画管理部防災局消防課
安全・安心コミュニティ推進室

TEL.078(341)7711(代)
内線3431・3432

13企T2-152A4

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています